

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ハローワークプラザ運営費	担当部局庁	職業安定局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度	担当課室	首席職業指導官室	首席職業指導官 伊藤 正史			
会計区分	労働保険特別会計 雇用勘定	施策名	II-1-1:ハローワークの需給調整機能の強化、労働者派遣事業の適正な運営確保により、労働力需給のミスマッチ解消を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	雇用失業情勢が依然として厳しい中、求職者がハローワークの職業相談・職業紹介サービスを容易、かつ、効果的に利用することができるようにし、求人と求職のマッチングの促進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ハローワークプラザを設置し、求職者が求人情報等を簡易かつ効率的に閲覧することができる求人情報提供端末を設置するとともに、職業相談・職業紹介等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	1,856	1,627	1,987	2,236	860
		補正予算					
		繰越し等					
		計	1,856	1,627	1,987	2,236	860
		執行額	1,484	1,449	1,746		
	執行率(%)	80.0	89.1	87.9			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	ハローワークプラザの求職者の就職率	成果実績 達成度	%	26.6	27.9	30.7	31
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	ハローワークプラザの新規求職申込件数	活動実績 (当初見込み)	件	505,603	463,535 (453,000)	554,620 (590,000)	— (590,000)
単位当たりコスト	3,493円	算出根拠	職業相談員(ハローワークプラザ担当)にか係る謝金/就職件数 =595,593千円/170,506件				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	696	291	実施拠点を再編することによる減。			
	職員旅費	5	3				
	庁費	564	310				
	土地建物借料	971	256				
計	2,236	860					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	依然として厳しい雇用情勢の中、雇用対策は喫緊の課題である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	雇用のセーフティネットとして、すべての地域で安定的継続的に職業相談・紹介サービスが提供できるよう、全国ネットワークを持つ国において実施すべき。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	庁費のうち光熱水料について、節電など効率的な庁舎管理を行った結果、不用が生じたものである。
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	常に適切な支出に努めており、23年度における単位当たりコストは22年度と同程度の水準となっている。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	職業紹介等に必要なものに使用している。
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	本事業は、求人と求職のマッチングの促進を図るものであるため、就職率を目標として設定。また目標値については、実績及び雇用失業情勢を踏まえ設定。なお、23年度は目標を上回る実績を上げている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績については、実績及び雇用失業情勢を踏まえ設定。23年度実績は概ね見込みに見合ったものとなっている。
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	求職者の利便性の高い地域に設置し、十分な活用が図られている。	
点検結果	<p>・上記の点検結果に問題はないが、引き続き事業実績を精査した上で、計画的に設置を行うこととする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	ハローワークプラザ運営費は、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	実施拠点を再編し、引き続き効率的な執行に努める。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	671	平成23年行政事業レビュー	608

国

厚生労働省
1,746百万円

【予算示達】

A. 都道府県労働局(59箇所)
1,746百万円

ハローワークプラザ相談員の配置
ハローワークプラザの運営

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					